

2018年度 日本山岳会山形支部 「蔵王樹氷原を滑る会」報告

平成31年1月18～20日、蔵王温泉スキー場で2018年度日本山岳会山形支部「蔵王樹氷原を滑る会」が開催されました。集合場所は蔵王温泉スキー場、堺屋森のホテル(ヴァルトベルク)、18日午後4時でしたが、午前中には、すでに到着して到着してスキーを楽しんでいる参加者もいました。夕方までに支部会員やアルパインスキークラブのメンバーが参集しました。支部会員は木村喜代志氏、安井康夫氏、會田茂雄氏、粕谷俊矩氏、高橋毅氏、野堀嘉裕氏、武田幹男市、佐藤一広市の8名、アルパインスキークラブから松澤節夫氏、牧野千歳氏、誉田紘八朗氏、和田博文氏、和田弘子氏の5名でした。18日懇親会では持参された銘酒の紹介や自己紹介で楽しみました。

19日は朝から前盛智恵氏、前盛知見氏が加わり、木村班と粕谷班に分かれて中央ゲレンデに向かいました。昼には全員が三五郎小屋に集合し昼食を楽しみました。天候は曇り時々雪でしたが、午後2時を過ぎたころには雲の切れ間から日差しが差し込み、上山市内を見晴らすことができました。午後4時過ぎにはヴァルトヴェルグに全員帰還し温泉を楽しみました。懇親会から鈴木理夫氏が加わり、樹氷原の害虫被害の話や参加者のスキースタイルの相互評価などで楽しみました。



18日懇親会前の集合写真



19日懇親会前の集合写真